第 27 章　大井戸上遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

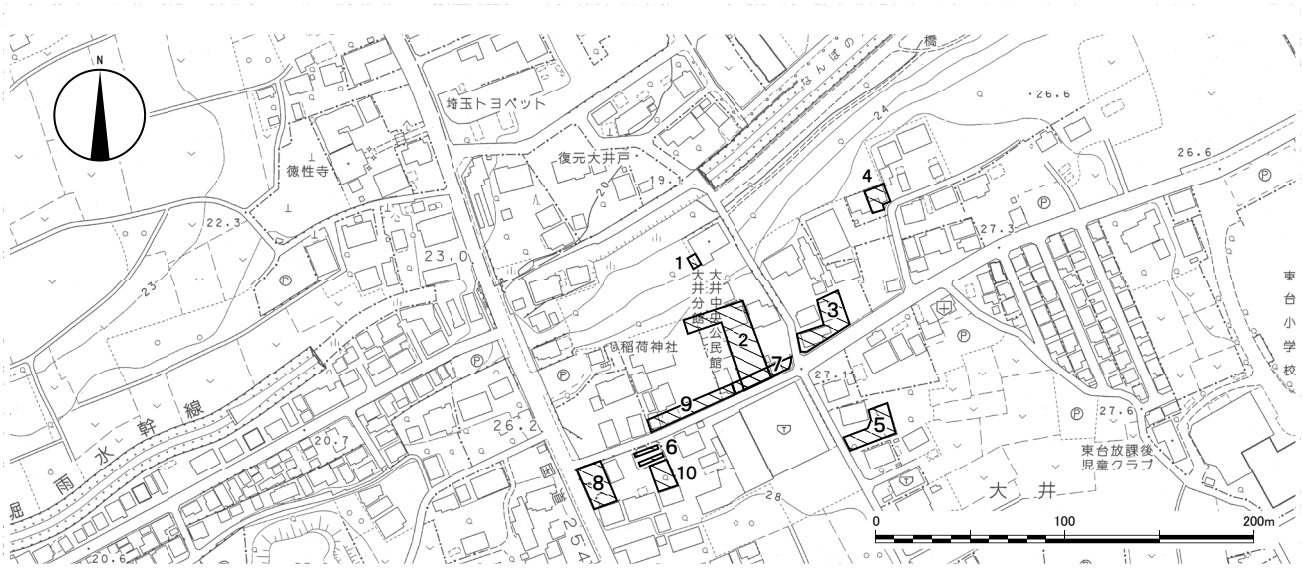
大井戸上遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 1.4km、砂川堀の右岸で標高 26 ～ 28 mの台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約 7 ～ 8 mで急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜をなす。遺跡の範囲は東西 200 m、南北 100 m、遺跡面積約 25,000 ㎡である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に大井氏館跡遺跡、同一崖線上の上流に西台遺跡、下流に東台遺跡と続く。

本遺跡は 1989 年に初調査以来、2020 年 4 月現在、10 地点で試掘調査が行われた。第 1・2・4 地点の調査では旧石器時代の礫群と石器群を検出した。西台遺跡から東台遺跡まで崖線上に連綿と旧石器時代の遺跡が存在していることになる。また、第 2・3 地点では崖線に沿って時期不明の溝跡を検出している。

第 74 表　大井戸上遺跡調査一覧表

地区地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 ( ) は試掘	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
1	大井字東台 234	(1989.2.15 ～ 21)	10		公民館増改築	遺構なし、縄文土器 等		東部Ⅸ
2	大井字東台 231・232	(1989.6.22 ～ 7.20)	974		会社寮	ピット、溝、柱穴、井戸、礫群		東部Ⅹ
3	大井 701-1	(1993.6.11 ～ 15)	350		個人住宅	遺構遺物なし		町内Ⅲ
4	大井字東台 689-3	(2004.5.27)	128		個人住宅	礫群、土坑、焼礫		町内Ⅻ
5	大井字東台 739-14	(2006.7.10)	326	(10)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 3
6	大井字東台 798-1	(2008.3.25 ～ 28)	889	(30)	個人住宅	ピット、遺物なし		市内 4
7	大井 231-1・2・8	(2017.9.27)	123	(23.5)	道路拡幅	ピット、遺物なし		市内 24
8	大井字東台 798-4、799-3	(2018.5.11)	200.01	(43.4)	駐車場	ピット、遺物なし		市内 25
9	大井 229-2、232-8 ～ 10	(2018.8.6 ～ 13)	225	(60.66)	道路拡幅	遺構遺物なし		市内 25
10	大井字東台 798-1 の一部	(2020.2.4)	497.58	(36.64)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 25



第 152 図　大井戸上遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

Ⅲ　大井戸上遺跡第 9 地点

（1）調査の概要

調査は道路拡幅工事に伴うもので、原因者より 2018 年 7 月 3 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2018 年 8 月 6 ～ 13 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30 ～ 40 ㎝である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、さらに旧石器時代の遺構確認を行うため、1m 四方のグリッドを 6 ヶ所設定し、人力で掘削を実施したが、遺構・遺物は確認できなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

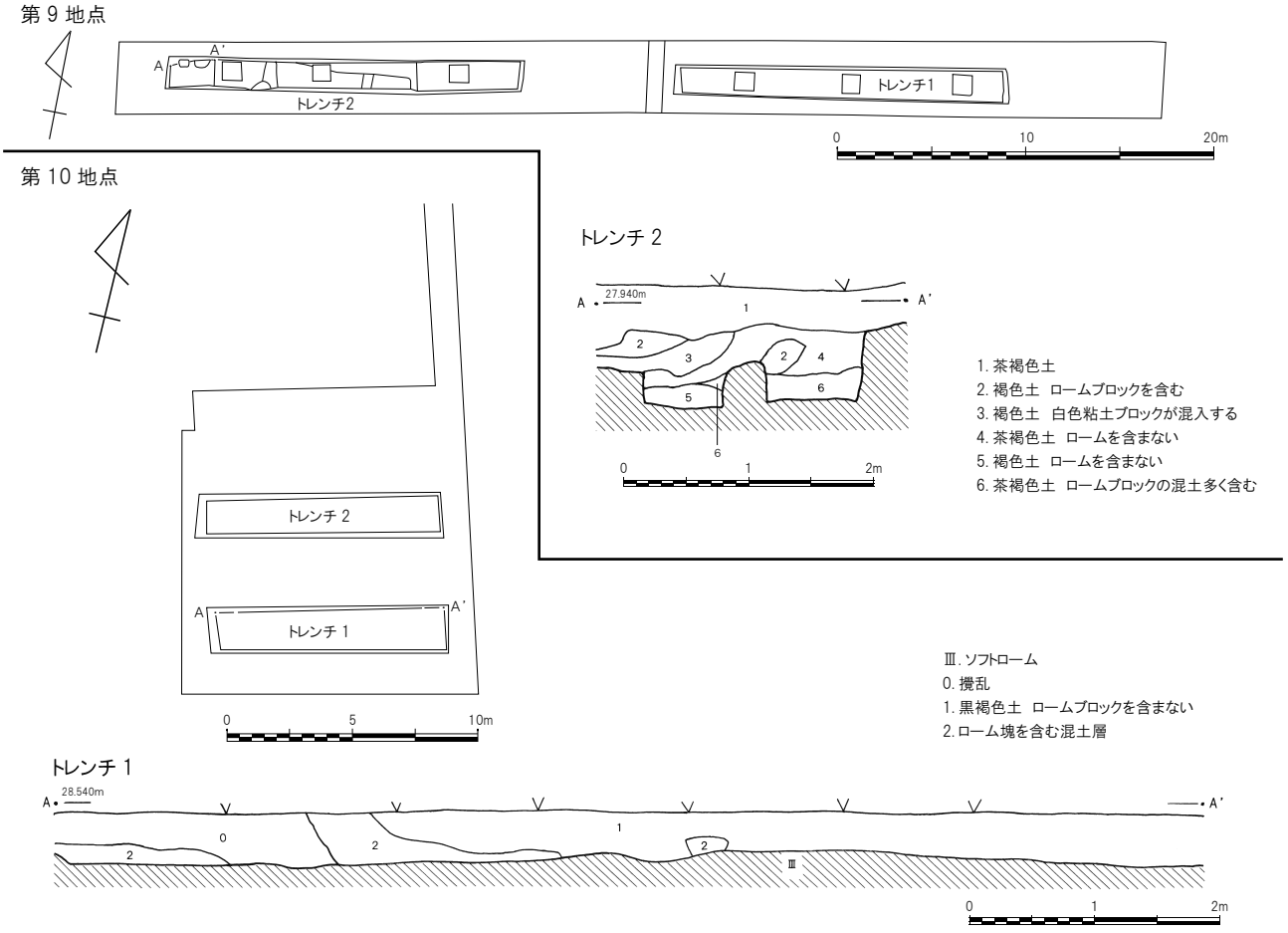
Ⅳ　大井戸上遺跡第 10 地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2019 年 11 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2020 年 2 月 4 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 2m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40 ㎝である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第 154 図　大井戸上遺跡第 9・10 地点調査区域図 (1/400・1/300)、土層 (1/60)

大井戸上遺跡第 8 地点トレンチ 1

大井戸上遺跡第 9 地点トレンチ 1

大井戸上遺跡第 9 地点トレンチ 2

大井戸上遺跡第 9 地点トレンチ 2 堀込み

大井戸上遺跡第 10 地点トレンチ 1

大井戸上遺跡第 10 地点トレンチ 2